



新しい生活様式を身につけ 未来へ向けた動き出しを

全国で緊急事態宣言が解除されました。学校は再開され、府の休業要請が解除されたことから、経済も再開に向けて進みだしたところであります。公共施設などの休館も解除となり、徐々にではありますが、スポーツや音楽、文化歴史などの分野についても再開しつつあります。

さて舞鶴市議会では、日々市民の皆様からお聞きする要望や相談等の内容を反映した提言を待たなしに行政に訴えるため、新型コロナウイルス感染症特別委員会を4月に設置しました。私も委員会の一員として、多くの皆様からいただいた切実な声を反映すべく、市のみならず、府、国への要望書を提出。また4月、5月には臨時会が招集され、新型コロナウイルス関連の議案を審議してきたところです。

現時点で舞鶴市内で1人の感染者も出ていないことについては、一重に市民の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。しかしながら元の生活に戻ることは容易ではありません。ウィズコロナ、ポストコロナに向けた課題が山積しています。それらを解決することが政治の役目であり、引き続き国府市に訴えて参りたいと存じます。

日本では大きな峠を越えましたが、国民に緊張感がなくなってきたこともまた事実です。必ず次が来るものと想定しておかなければなりません。新しい生活様式を特別なことと捉えず、当たり前前に私生活に取り入れながら感染拡大防止を図りつつ、様々な分野で復興に向かう時でもあります。正しく行動しましょう。

2020年7月吉日 鴨田 秋津

令和2年
6月定例会

学校を取り巻く環境と再開後のスポーツについて質問!

もともと学校はアナログ社会で、宿題等はほぼ100%紙ベース。保護者との繋がり手段も電話やおたよりが主となっております。コロナ休校の最中でも、オンライン授業を導入する自治体がある一方で、舞鶴はプリントを配るだけの家庭学習となりました。

しかしながら、令和時代を生きる子ども達にとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須であり、そのためには、**児童生徒向けの1人1台の学習者用PC端末と、学校の高速大容量の通信ネットワークを一体的に早期に整備**することは急務です。

これらICTに関連した質問と、学校体育館の空調導入について質問しました。2項目については、自粛後のスポーツの今後と、大会等の中止により**活躍の場が失われた子ども達への救済**について質問しました。

1. 市立学校を取り巻く環境について

- (1) 1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境の整備について
- (2) 休校を想定した家庭学習の在り方について
- (3) 保護者等に対するICTの活用について
- (4) 学校体育館の空調導入について



2. 新型コロナウイルス感染症の終息に至らない状況下でのスポーツ活動について

- (1) 自粛後のスポーツ再開について
- (2) 子どもたちが練習の成果を発揮できる場について

1項目の(1)については、令和5年度までの整備予定だった計画を**令和2年度中**の実現を目指して取り組むとの回答、(2)については、もし休校措置を取らなければならない状況が訪れた時には、**オンライン授業等を導入していくこと**、(3)については、**紙ごみの削減と合わせてICTを活用し情報発信に努めていく**こと、いずれの質問も非常に前向きな答弁でした。(4)については、**具体的に検討する予定はない**と言いきってますので、これについては後に問題提起します。

2項目の(1)については、市はスポーツを非常に重要であると認識しており、今後は、感染予防など施設管理者の役割をしっかりと果たすと同時に、使用者と連携をとりながら再開に向けて取り組むとの答弁。**今後の大会等を開催するにあたっての指針も市が発表しました**(詳細は舞鶴市HP)。(2)については、各競技団体にも子どもが活躍できる大会等の場の創出を積極的に呼びかけており、**試合会場等の提供にも積極的に協力していく**との答弁でした。

質問の動画は
ユーチューブ
で
いつでも閲覧できます

未来を見据えた事業とウィズコロナに向けた予算処置

今定例会では第36号議案から第52号議案まで、定例会最終日に追加議案として新型コロナウイルス感染症対策関連の第53号議案から第55号議案を審議しました。

= 保育士の処遇改善事業補助ついて =

鴨田あきつ通信前号 (Vol.06) で掲載しましたように、一般質問をした内容が正式に予算措置されました。民間保育士1人当たり月額8,000円の補助を4,000円増額し、12,000円に上げること。かつ補助対象は常勤職員のみでしたが、非常勤職員にも拡大されました。

= 施設整備事業ついて =

これまで全国大会の覇者を複数輩出するなど、優秀な成績を残しているレスリング競技ですが、安定した練習環境が担保されていませんでした。よってこの度、文化公園体育館1階トレーニング場をレスリング場に改修し、トレーニング場を2階へ移設するものです。

= 未来を拓く学びの環境整備事業について =

今回一般質問した、児童生徒向けの1人1台の学習者用PC端末と、学校の高容量の通信ネットワーク等を一体的に整備する事業ですが、令和5年度までの予定(鴨田あきつ通信前号 Vol.06 に記載しています)だった計画を今年度中に前倒して整備することが正式に決定しました。この件は、休校中に多くの子育て世代の皆様から要望をいただいておりますこと、まさに皆さんの声が反映されたものと言えます。

= 新型コロナウイルス感染症対策の取り組み等について =

こども園などの児童福祉、産後ケア施設、災害時の指定避難場所、小中学校などに対するマスクや消毒液、体温計などの購入費用や、総合文化会館の感染症予防に係る対策工事、各公民館のWi-Fi環境の整備などです。また地元に住まう人々が地元の宝を再発見する機会を促進させようとする「マイクロツーリズム推進事業」や、地元の人が地元のお店を応援できる仕組みである「バイロカル舞鶴」など、観光や経済などで「ピンチをチャンスに変えて行こう」とする取り組みが予算計上されました。

討 論

当初提出議案と最終日に上程された議案を2回に分けて討論で述べておりますので、詳細は動画をご確認ください。

討論は一般質問と同様に
YouTube で
いつでも閲覧できます



鴨田秋津プロフィール 1981年11月11日生まれ(38歳)

【学歴】拓殖大学経済学部 卒 【趣味】柔道(5段)、魚釣り

【家族】妻・子ども3人(1男2女)

柔道教室で子ども達の指導をはじめ、各種団体に青少年育成活動等を行っています。



終わりに

一般質問で触れた「市立学校の体育館への空調導入」についてです。なぜ体育館に空調が必要なのか考察したいと思います。そもそも学校体育館には子どもの学びとしての機能のみならず、スポーツや地域行事の拠点という役割もあります。

皆さんご存じの通り舞鶴は暑いまちで、今年の観測記録では猛暑日(最高気温が35度以上)の日数は19日間ありました。これは、気象庁の観測所の気温を測定している全国929カ所中25位です。また「今日の最高気温は全国で舞鶴が1位でした」という日が毎年のようにありますね。さらに熱中症で緊急搬送された方の人数をみますと、2017年では55名に対して、昨年は78名と増加しています。

我々が子どもの時とは暑さの度合いが違います。熱中症という概念も昔はありませんでした。この時点で既に空調を導入する理由に該当すると考えます。

次に近年多発する豪雨災害や台風時の避難場所としての機能です。新型コロナの感染防止対策は、災害時の避難場所でも徹底するよう国から通知がきております。

舞鶴も近年大きな災害に見舞われました。例えば平成30年7月豪雨では舞鶴市も甚大な被害を被ったわけですが、あの時舞鶴で降った24時間での最大降雨量は250ミリです。対して、昨年、関東を中心に襲った台風19号の降雨量は24時間で590ミリから640ミリ降っています。この規模の台風が舞鶴を通過していたとすれば…

しかもそれが真夏だった場合、そしてこの度の新型コロナ対策で3密を避けなければいけない、発熱者などには専用スペースを作らなければいけない。これら最悪の条件が重なる可能性は絶対に否定できないわけです。その際に快適な避難場所に資する学校の体育館への空調導入を議論していくべきでしょう。「空調はお金がかかる」という理由は理由にはなりません。命の問題だと私は考えます。



編集部 より ひとこと

編集部の〇です。昨年大好評をいただき、恒例行事として開催を予定していた「鴨田あきつ後援会納涼の夕べ」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年は中止させていただきます。皆様の声を直接伺うことが出来る貴重な機会ですので非常に残念ですが、昨今の状況を踏まえ、苦渋の決断となりましたことを、この場をもってお知らせいたします。

地域の要望等、些細な事でも構いません。是非お気軽にご相談下さい!

TEL:0773-75-0800 mail:k.akitsu3@gmail.com

インターネットでは、日々の活動をより詳細に更新しています。
ぜひご覧ください。

ウェブサイト <https://kamoda.info/>
facebook <https://www.facebook.com/akitsu.kamoda>
twitter <https://twitter.com/AkitsuKamoda>